



こうまだより

第627号
令和6年1月31日

園長 高麗 正夫

2つの震災

1月1日元旦に能登半島に大きな地震が発生し、230人以上の方が犠牲になった。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。震災に遭って倒壊した家屋は、古い木造で屋根に重い瓦が載っていた。火災と家屋の倒壊で住む所を追われ、学校の体育館や公民館等に避難した。最初は、電気も水道もなく、不自由な避難生活だったことが想像できる。震災から1ヶ月が過ぎ、電気は復旧したが、水道はまだまだ時間がかかるようである。交通手段である道路や鉄道も徐々に復旧し、小中学校も近隣の学校を合わせて授業が再開されたようである。珠洲市のある保育園長がテレビの取材に対し「少ない園児ですが、登園して来るので、ここを離れて避難する事ができないのです」と言っていた。多分、保護者は、子どもを保育園に預けて後片付けをしなければならないのでしよう。

1月17日は、阪神淡路大震災から29年の年月が過ぎた。震災は早朝5時46分に発生したため、朝食の準備に火を使っていた。その為、多くの場所から火災が発生した。火災と家屋の倒壊で6300人以上の方が犠牲になった。特に印象に残っているのが、一本足の高速道路が倒壊したことである。兵庫県神戸地方は、今まで大きな地震がなかったため、地震専門家も驚いていた。当時の成人式は、1月15日に実施されていた。晴れ着を着た成人式の写真が遺影になってしまった人もいるだろう。もし生きていれば、その子どもが成人式を迎える時期になった。

今の科学では、地震がいつ発生するか予知することができないため、防災訓練を実施し、生きるための非常食や飲料水の確保をしっかりとっておかなければならない。

幼稚園では、毎月1回避難訓練を実施している。1月の避難訓練は、三階ホールで子ども会の練習をしている時に地震が発生したという想定で実施した。いつもの保育室から避難するよりも、三階ホールから避難して安全な園庭に集合する方が時間がかかった。

震災の発生率は、幼稚園にいる時よりも、家族といる時の方が高いため、家庭で震災が発生した時の安否確認と連絡方法、それに集合場所の確認を話し合っておいてください。園では震災の被害を忘れずに子ども達と日々過ごせることを大切にしていきます。

1月中旬から、子ども会の練習が始まった。三階職員室にいると隣のホールから、子ども会の練習をしている歌声が聞こえて来る。子ども達は、保護者が観に来てくれるため頑張って練習している。舞台上上がるということは、大勢のお客様に観られ、緊張するかもしれないが、練習によって乗り越えてくれると思う。

当日は、子ども達の成長した様子をご覧ください。

※3/2 謝恩会は年長のみ。満三、年少、年中はお休みです。